

J R G 6 3 2 0 N型温度開閉弁

温度開閉弁製品記号

JRG6320N-F

ユニオン継手付製品記号

JRG6320N-FP

水道法性能基準適合品

耐圧性能・浸出性能

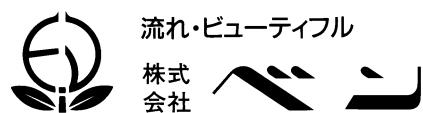
取扱説明書



JRG6320N型



JRG6320N型 ユニオン付



はじめに

この取扱説明書は、JRG6320N型温度開閉弁の取扱方法について記述しています。
ご使用の前に熟読の上、正しくお使いください。

この取扱説明書は本製品を設置、および使用される方々のお手元に確実に届くようお取りはからい願います。

———— 製品の危険性についての本文中の用語 ————



警告 : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意 : 取扱を誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害・損壊の発生が想定される場合。

二 使用にあたっての警告・注意事項

本製品のご使用にあたり、人身の安全および製品を正しく使用するために必ずお守りください。



警告

- 製品の使用条件が製品仕様を外れた過酷な条件下での仕様の場合、製品の取付状態が不備な場合、また弊社以外での製品の改造などを行った場合などでは、製品の損傷・破損や流体の外部への流出（吹出し）などに伴う事故を引き起こす恐れがあります。
※このような事故の場合、弊社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品には、むやみに触れないようにしてください。
※高温流体と接続しているため、やけどの恐れがあります。
- 本製品を配管からの取外しにあたっては、流体の供給弁を止め、配管内の流体を排出し、圧力が零になっていることを確認すると共に、本体を素手でさわれるまで冷してから行ってください。
※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体によりやけどをする恐れがあります。



注意

- 本製品の取扱いにあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は触れないでください。異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。
- 本製品を使用する前に、本製品の梱包表示内容と1頁の仕様を確認してください。使用条件が本製品の仕様を満足することを確認の上、ご使用ください。
- 本製品の機能・性能を確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。
- 逆流防止が必要な場合、逆止弁の設置を推奨します。

目次

| | 頁 |
|------------------------|---|
| 1. 製品用途、仕様、構造、作動 | 1 |
| (1) 用途 | 1 |
| (2) 仕様 | 1 |
| (3) 表示 | 1 |
| (4) 構造 | 2 |
| 2. 作動 | 3 |
| 3. 設置要領 | 4 |
| (1) 配管例略図 | 4 |
| (2) 要領 | 5 |
| 4. 作動確認 | 6 |
| 5. 保守要領 | 7 |
| (1) 日常点検および定期点検 | 7 |
| (2) 故障の原因と処置 | 7 |
| ○サービスネットワーク | |
| ○同梱取扱説明書 | |

1. 製品用途、仕様、構造、作動

(1) 用途

この温度開閉弁は、サーモスタットで水温を常時検知することにより、温度による開閉を目盛の設定に従い自動的に行います。

(2) 仕様

| | | | | |
|---------|-------|-------------------------------|----------------------|--|
| 型 式 | | J R G 6 3 2 0 N型 | | |
| 呼び径 | | 20 | | |
| ★製品記号 | | 本体のみ | ユニオン継手付（オスネジ） | |
| | | J R G 6 3 2 0 N-F | J R G 6 3 2 0 N-FP | |
| 設 定 温 度 | 目 盛 値 | 1 | 36°C | |
| | | 2 | 41°C | |
| | | 3 | 45°C | |
| | | 4 | 49°C | |
| | | 5 | 53°C | |
| | | 6 | 57°C (工場出荷時設定) | |
| | | 7 | 63°C | |
| ★流体温度 | | MAX. 70°C <small>注1.</small> | | |
| 適用流体 | | ☆温水 | | |
| 適用圧力 | | ☆1.0MPa | | |
| 適用最大差圧 | | ☆0.2MPa | | |
| 取 付 | | 水平・垂直・横取付自由（調節部下向不可） | | |
| 端接続 | | J I S管用平行おねじ (G1) | J I S管用テーパおねじ (R3/4) | |
| 材 質 | | 本体（青銅） 要部（青銅、黄銅、ステンレス鋼、樹脂） | | |
| 付属品 | | 温度調節用六角棒スパナ、保温カバー | | |

注1. 内蔵サーモエレメント部の耐温度を示します。温度にはご注意ください。



注意

- 本製品の梱包表示内容と、注文された型式の上記仕様 ★ 部分を確認してください。
- 上記仕様の ☆ 部分が使用条件を満足することを確認してください。
- 上記の仕様を超えての使用はできません。

(3) 表示

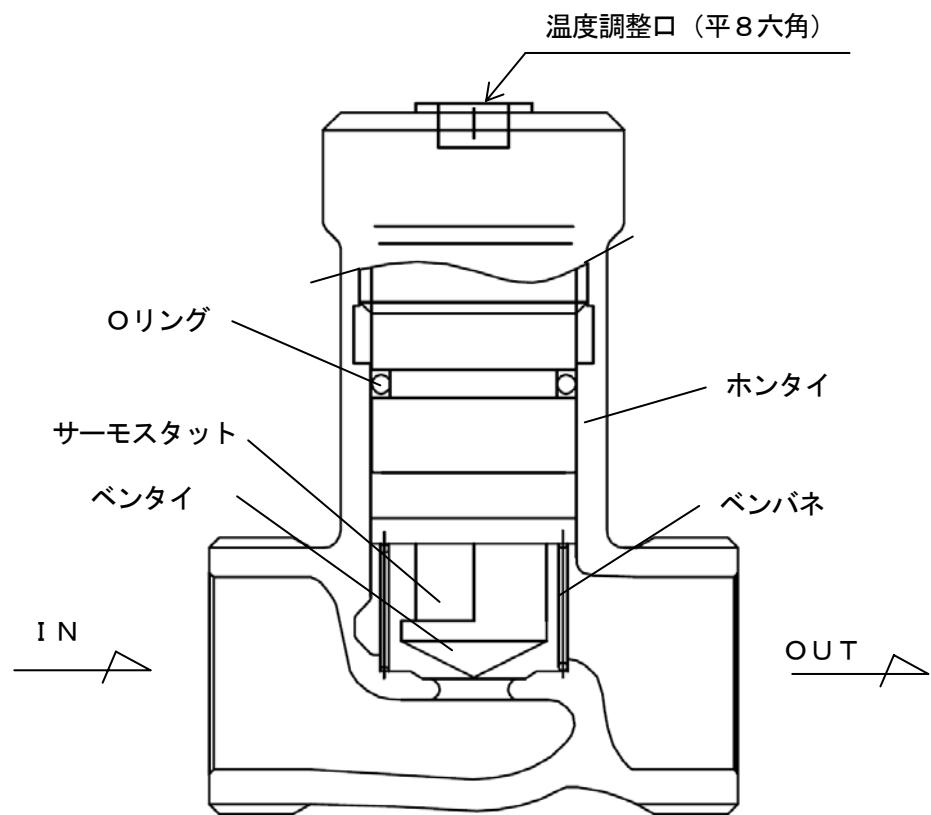
本体表示

- ・ 3/4:バルブサイズ
- ・ 上面六角棒装着部設定位置（切込表示）
- ・ 1-7 目盛指針（目盛範囲）
- ・ ▶ 流れ方向矢印

銘板

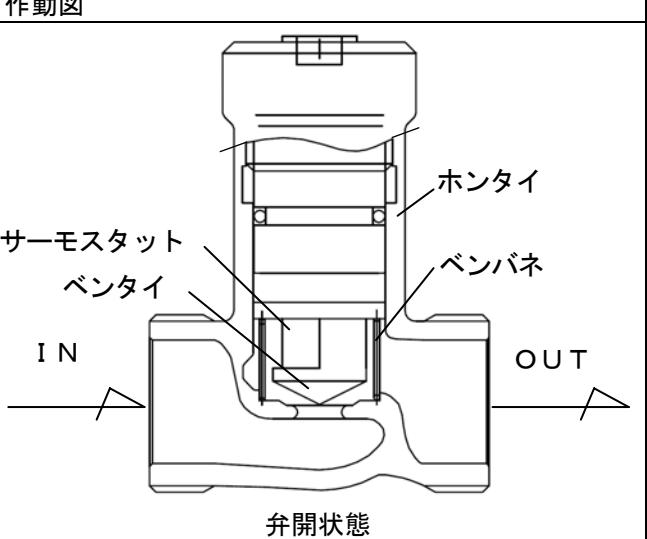
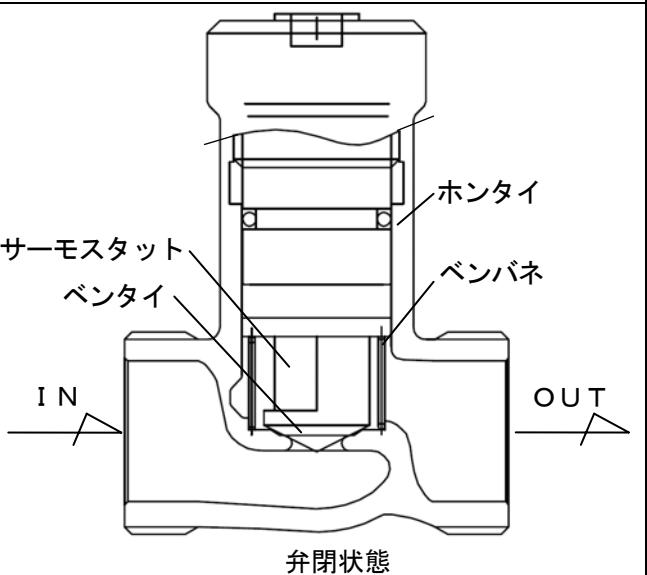


(4) 構造



※注) 本製品は分解できません。

2. 作動

| 作動図 | 説明 |
|---|---|
|  <p>IN</p> <p>OUT</p> <p>弁開状態</p> | <p>温水の温度を感知し膨張・収縮するサーモスタットとそれに連動して開閉するベンタイ、ベンバネ等から構成されています。</p> <p>設定した温度に対し温水の温度が低いときは、サーモスタットの膨張力がチョウセツバネの反力により弁開しています。</p> |
|  <p>IN</p> <p>OUT</p> <p>弁閉状態</p> | <p>設定した温度に対し温水の温度が高いときは、サーモスタットの膨張力がベンバネの反力より強くなり弁閉します</p> |

3. 設置要領

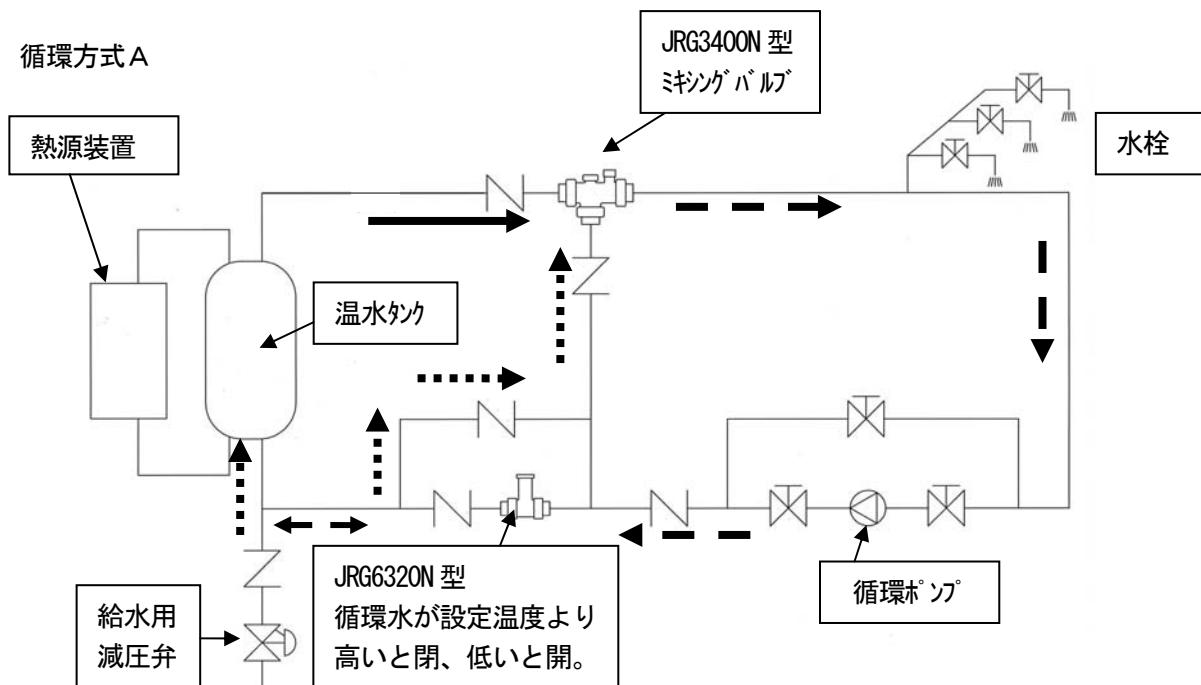


注意

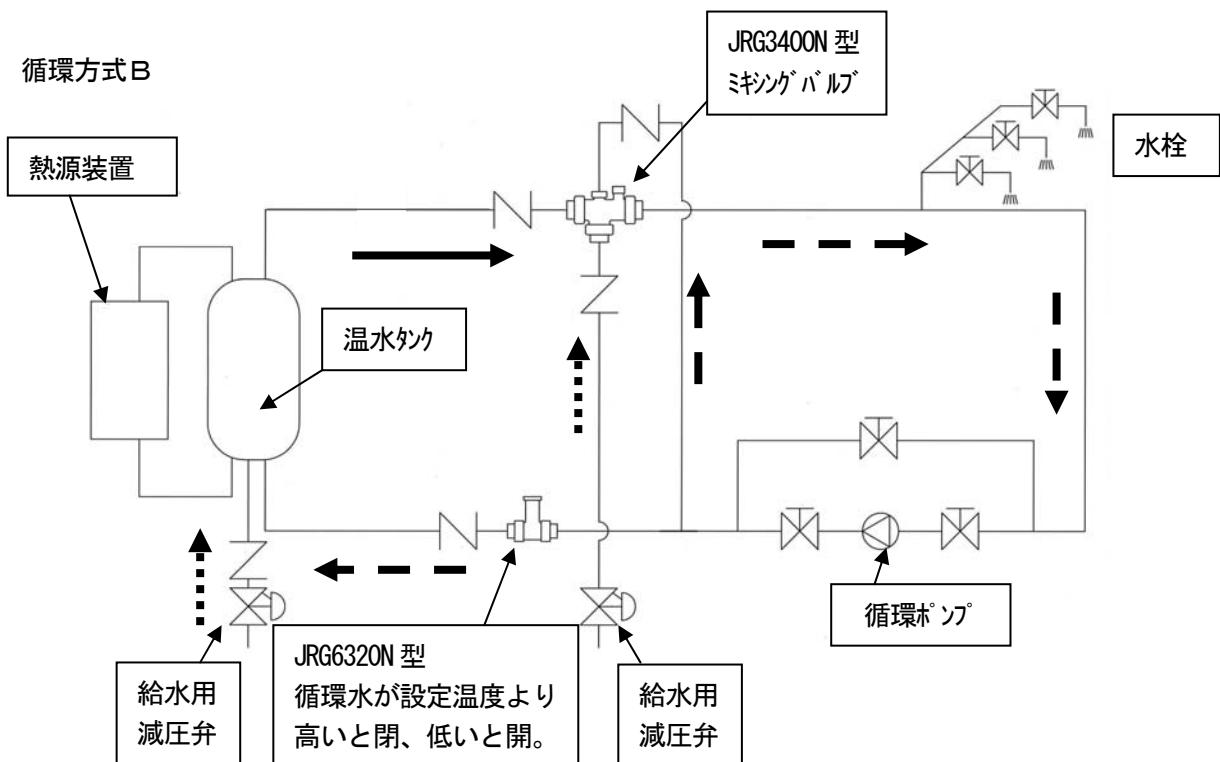
- 配管時は、配管の流れとホンタイの鋲出しの矢印を、同一方向に設置してください。
- 逆流防止のために、逆止弁の設置を推奨します。
- 本製品は分解できない構造の為、メンテナンス・交換時の為弁前後への止弁の設置を推奨します。
- 銅管に溶接で継手を設置する場合、溶接にする場合高温による内部部品の破損防止のためには、溶接時は温度開閉弁を取り外してください。（温度開閉弁は分解不可のため、部品の交換ができません。）

(1) 配管例略図

循環方式A

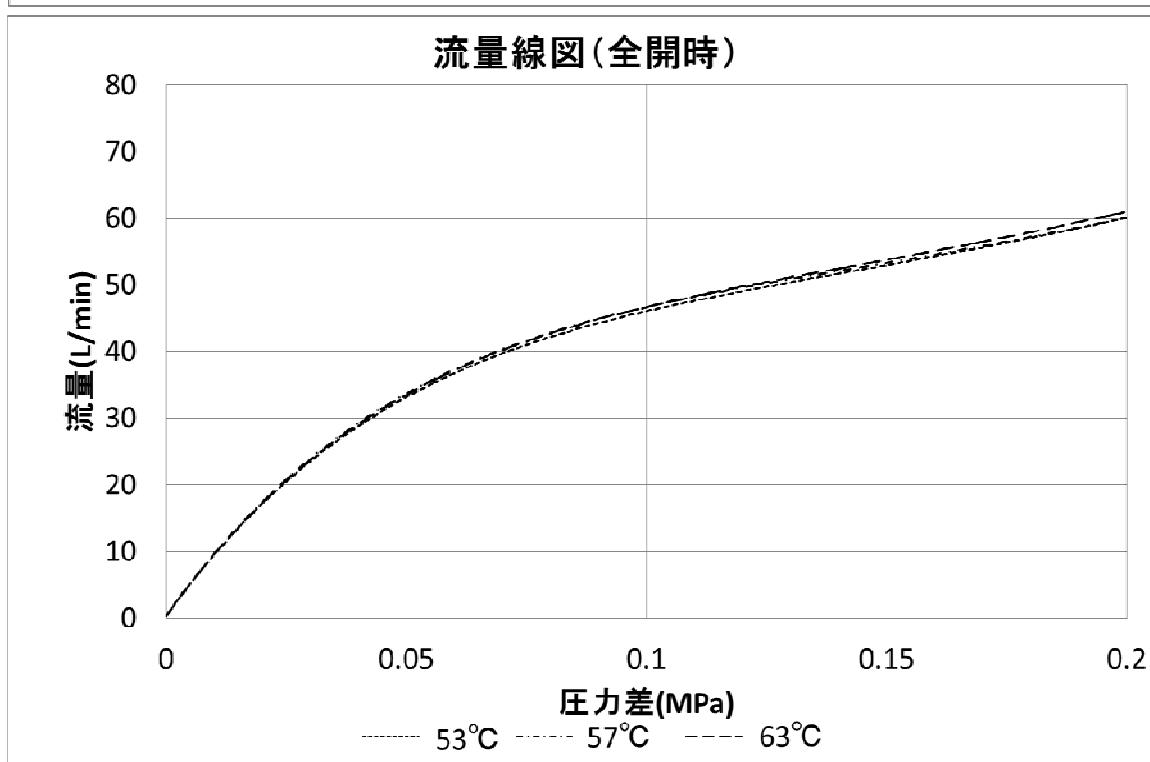
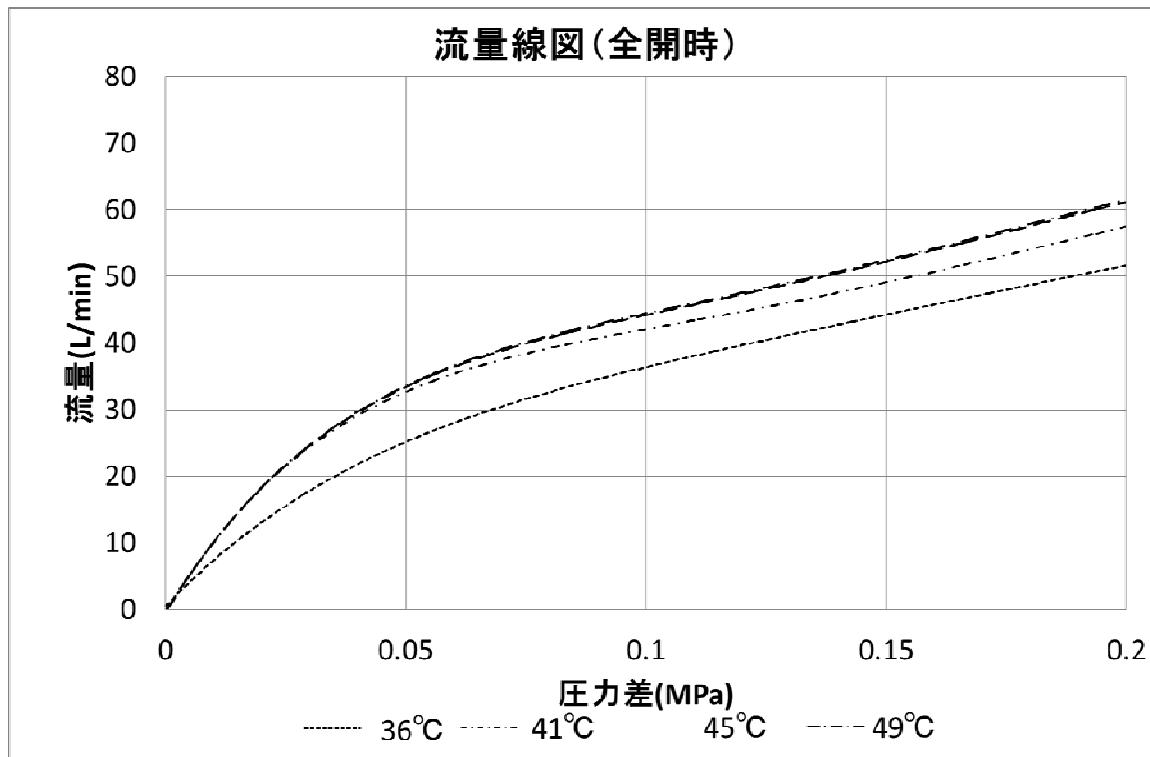


循環方式B



(2) 要領

- 1) 配管の鋸が弁内部に詰まると、設定温度で作動ができないなど本来の性能が損なわれますので、配管は銅管やステンレス鋼管などを推奨いたします。また、異物の流入防止のため、ストレーナを設置してください。
- 2) 温度開閉弁を取付ける前に、配管接続に使用するシール剤や異物などが入らないよう、配管の洗浄を十分に行ってください。（温度開閉弁は分解不可のため、当り面に噛み込んだ異物を取り除くことが困難です。）
- 3) 溶接などで配管接続する場合、高温による内部部品の破損防止のために、溶接時は温度開閉弁を取外してください。（温度開閉弁は分解不可のため、部品の交換ができません。）
- 5) 本製品はその系の必要流量に応じて下図のような圧力損失が発生しますので、適切なポンプの選定を行なってください。



- 6) . 凍結の恐れのある場合は、保温をしてください。※凍結による破損の恐れがあります。
- 7) . 温度開閉弁は工場出荷時設定温度に調整された状態で出荷していますが、設定温度を変更する場合は次項をご参照ください。

4. 作動確認



警告

- 流体を流す前に、配管末端まで流体が流れても危険の無いことを確認してください。
※流体が吹出した場合、怪我をしたり、温水によりやけどをする恐れがあります。
- 製品にはむやみに触れないようしてください。
※温水と接続しているため、やけどの恐れがあります。



注意

- 長期間運転を休止する場合は、本製品および配管内の流体を排出してください。
※配管内の錆の発生などによる故障、あるいは凍結による破損の恐れがあります。
- 本製品の温度設定変更にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は触れないでください。異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。

●設定温度の変更

温度開閉弁は工場出荷時設定温度（目盛値：6, 57°C）に調整された状態で出荷しています。設定温度の変更は本体上部の六角孔に付属の六角棒スパナを差し込み操作することで簡単にできます。

六角棒スパナ装着部切込表示に目盛を合わせてください。

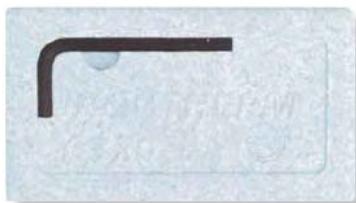
| 目盛値 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 温度設定値 | 36°C | 41°C | 45°C | 49°C | 53°C | 57°C | 63°C |

■搬送梱包

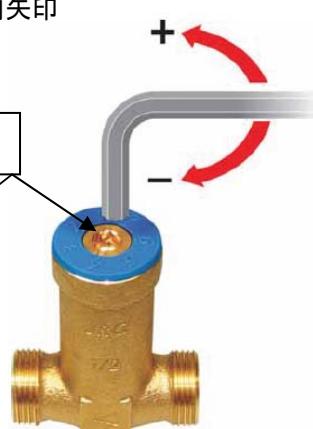
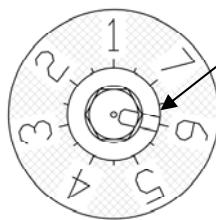


本体表示

- 3/4: DN20 (バルブサイズ)
- 上面六角棒装着部設定位置 (切込表示)
- 1-7 目盛指針 (目盛範囲)
- JRG (製造元)
- ▷ 流れ方向矢印



設定温度位置 (切込表示)



- 六角棒スパナを目盛リングの中に差し込み、右回転（時計回り）すると設定温度が下降し、左回転（反時計回り）すると温度は上昇します。
- 設定温度の変更は実際の温度計を見ながら時間をかけて少しづつ調整を行なってください。

※梱包材は保温材として使用できます。

※作動確認時の不具合に対する処置：7頁（2）故障の原因と処置をご参考ください。

5. 保守要領



警告

●本製品を配管からの取外しにあたっては、流体の供給弁を止め、配管内の流体を排出し、圧力が零になっていることを確認すると共に、本体を素手でさわれるまで冷やしてから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体によりやけどをする恐れがあります。



注意

●本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

●本製品の取扱いにあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。

一般のご使用者は触れないでください。異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。

●本製品は分解できませんので、当社にご相談ください。

●長期間運転休止後の再運転時には、機能・性能を確認するため、作動点検を実施してください。

(1) 日常点検および定期点検

| 点検項目 | 処置 |
|---------|---------------------|
| 給湯温度の確認 | 「7頁：(2) 故障の原因と処置」参照 |
| 外部漏れの有無 | 「7頁：(2) 故障の原因と処置」参照 |

(2) 故障の原因と処置

故障の状態、原因を確認し、処置を行います。

| 故障の状態 | 原因 | 処置 |
|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 給湯温度が設定温度より高い。 | 調節ネジの左回転過多。 | 調節ネジを所定の設定温度目盛りまで、右に戻す。 |
| | 弁体・弁座当り面に異物を噛み、温水が閉止出来ない。 | 本製品は分解できませんので、弊社にご相談ください。 |
| 2. 給湯温度が設定温度より低い。 | 調節ネジの左回転不足。 | 調節ネジを所定の設定温度目盛りまで、左に回す。 |
| | サーモスタッフの不具合。 | 本製品は分解できませんので、弊社にご相談ください。 |
| 3. 外部漏洩 内部Oリング ユニオンガスケット | 内部Oリングの損傷。 ユニオンガスケットの傷み。 | 新品製品と交換する。 ユニオンガスケットを交換する。 |

製品及び本取扱説明書に関するお問合せは下記へお願いします。

○サービスネットワーク

サービスネットワークについては、弊社ホームページ（二次元コード読み込みまたはURL入力
(<https://www.venn.co.jp/>) の拠点情報より最寄りの営業所までお問合せ願います。

拠点情報 二次元コード

